

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年3月31日

事業所名 Conatus Suginami

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3				
	②	職員の配置数は適切である	3				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2			
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3			定期的にプログラム・運営の見直しを行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3				年1回の実施を行う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	1	昨年度、生活訓練事業で実施した結果を当事業でも反映をした。	来年度中に第三者評価を実施する予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			外部での研修参加の他に支援に必要な研修を実施、共有を行っている。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			プログラムの様子を家族と共有し、今取り組むべき課題と、長期的なアプローチを伝えられるようにしている。また子どもの成長・変化といった良い面にも着目するようにしている。	スタッフ間でアセスメントに差が生じないように定期的に話し合いを行っている。今後、それぞれの専門的な視点も取り入れることを目指す。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			ICFに当てはめ、社会的・日常的な生活への参加に支障が出るのか検討している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			それぞれで分担することもあるが、基本的には全体で企画・運営を行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			それぞれで分担することもあるが、基本的には全体で企画・運営を行っている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			プログラムに合わせた介入ポイントを共有して実施している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			曜日に応じて目的を変えたプログラムを実施。個別・集団ともに対応できるようにしている。個別支援から集団へ繋げる関わりを行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	2	1			時間が足りないことがあるため、前日も含めて実施したり、ポイントを精査して効率化を図る。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			休みのスタッフとも共有ができるようにしている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			職員が閲覧可能なソフトを用いて記録を共有している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3				
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			区の担当係や児童相談所など主催の担当者会議が開催された際には児童発達支援管理責任者や担当職員が出席し連携を図っている。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3			家族・学校から了承を得て学校に訪問し、学校での様子を見させてもらった。また事業所で用いている対処方法を共有し、学校でも取り入れてもらい、共通した支援を行えるようになった。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		医ケア児ではないが、服薬など定期通院している子が多い。主治医に活動記録(情報提供)を共有したり、直接電話などでやり取りすることもある。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	1		未就学児の利用が少ないため児童発達支援事業、保育園・幼稚園などとの連携の機会がないが、今後、対応できるように関わっている機関を確認して連携を図っていく。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	2		現在、高校卒業を迎えて福祉サービスへ移行した児童が少ないため、他事業所への情報提供をする機会がなかった。また高校卒業する児童に関しては、当法人の生活訓練事業の他に必要に応じて社会資源も提案している。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3				
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	1		障がいの有無に関わらずボランティア学生が料理などを手伝いに参加。コミュニティの形成として、成人のピアサポートグループとの交流する機会を設けている。	地域交流の機会をもう少し増やしていきたいと考えている。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	1			
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3				
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3			保護者から相談を受けた場合に限らず、支援中に気になったことがあれば状況や対応を伝えるようにしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			利用契約時に説明している他、運営規定については、常時閲覧可能になっている。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			必要に応じて面談で相談を受けたり、保護者様のご都合や心身の状態に合わせてLINEを活用するなど柔軟に対応している。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			家族も参加できるプログラムを設定し、家族間でも交流する機会を設けている。	家族教室が不定期開催となっているため、定期的に開催できるように計画を立てる。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			プログラムに合わせてフライヤーを作成して伝えていたり、LINEで共有をしたりしている。	今後はFacebookを中心に活動を発信していく。
	③⑮	個人情報に十分注意している	3			鍵付き書庫にて保管している。	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1		杉並区の農福連携農園を利用し交流する機会を設けた。	地域住民を招待するプログラムは開催できていないが、地域との交流は大事だと思うため、積極的に検討をしていきたい。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1			避難訓練や避難先までの移動などを行っているが、全員が参加できていないため、定期的に開催をする。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2		契約書に掲載して説明を行っている。	現在、拘束を必要とするケースはなし。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			医師の指示書は要していないが、入所時にアレルギーの確認を実施している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1			

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。